



平成 29 年度 南小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ



10月30日(月)に開催された「平成29年度南小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。(三島市のホームページにも掲載しています)

■開催概要■

日時	平成29年10月30日(月) 19:00~20:45		
会場	消防署		
参加団体 (26名)	中央町自治会 南田町町内会 富田町自治会 新谷自治会 平田自治会 藤代町町内会 モナーク三島自治会 青木保育園	南幼稚園 のびる幼稚園 南幼稚園PTA のびる幼稚園PTA 南小学校 南小学校PTA 南中学校 南小学校支援地域本部	南中学校支援地域本部 富田町子ども会 消防団第1分団 保健委員会 民生委員・児童委員 地域包括支援センター三島 保護司会 三島市社会福祉協議会

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「地域コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の取組み事例紹介」
- 3 「地域の情報を共有しよう」
- 4 「計画案で実践できることを考えよう！」
- 5 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

今回の「地域の情報共有」では、小学校区の年間スケジュール表や各団体から出された情報を参考にしながら、各団体間の情報を共有しました。

○「小学校区の年間スケジュール表」について

同じ小学校区内で活動する団体の行事や活動の予定等を各団体と共有し、日程調整等のために活用していただくことを目的に、本年度から小学校区内の団体等の年間スケジュール表を作成しています。第2回連絡会では、第1回連絡会后にいただいた予定等も追加して、参加者に配布しています。

■主な情報共有の内容

団体	情報の概要
南田町町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション等を行う「にこにこ会」を毎月第一土曜に開催しています。 ・11/5は、町内会の防災訓練と「消防フェア」が重なったので、消防署にお願いし、消防フェアに見学・体験参加させていただくことになりました。 ・子ども会が廃止になりましたが、子どもはいるので、自治会役員が協力し合い、地域の子も達が楽しめる企画をやりたいと動いています。
新谷自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェを開いており、住民が自分の得意分野を教えたり、日頃の成果を披露する場となっています。0歳から高齢者まで誰でも来て下さい。
平田自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・12/2に子ども会と共催で、地域の宝事業を兼ねてクリスマス会を開催します。ケーキを用意してマジックショーを呼ぼうと考えています。 ・子ども会は、会長の人選に苦勞しているようです。自治会も存続をサポートしていきたいと考えています。
藤代町町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・3年前から子ども会がない状態です。そのため、運動会やお祭りに特化し、町内会が「子ども委員」という形を作りました。 ・高齢化が進行しており、市内で10本の指に入るほどです。 ・12/17に「高齢者になっても住みやすい町は子どもも住みやすい」をテーマに「ぽかぽか大会」を開催します。2時間かけて公民館や市営住宅など、5施設で同時にイベントを開催する予定です。横のつながりを作りたいです。 ・おやじの会は組織に関係なく誰でも参加できるすばらしい組織です。地域の皆さんには、その考え方を見習ってほしいです。
モナーク三島自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の訓練に参加しましたが、参加者が少なかったです。 ・あいさつ運動を実施しようとしたのですが、松戸市での事件が起きたため、保留にしました。
青木保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週火曜に「遊ぼう会」を開催しています。 ・園庭を一時避難場所としました。
南幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に園庭を芝生化していただきました。ありがとうございます。 ・12月に「幼稚園フェア」を開催します。12/2は一般住民対象、12/5～6は未就学児とその保護者対象です。ぜひ遊びに来てください。
南幼稚園 PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・11/20に「おゆずり会」を開催します。在園児家庭から不要になった衣類等

団体	情報の概要
	を集めて必要な方に譲ります。当日は、未就園児対象の「遊ぼう会」も開催しますので、興味ある方はお越しください。
のびる幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・「のびる祭」は台風の影響で2日間の開催になりましたが、地域の方が来てくれてありがたかったです。 ・園周辺の住民は協力的で助かっています。ありがとうございます。 ・平成30年度から「認定子ども園」になります。 ・12/11に一般の方向けにクリスマスの劇を披露します。見に来てください。
南小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・12/9の一日参観日で今年の6年生（第54代）がレパートリー（楽器演奏）の発表をします。ぜひお越しください。 ・学校前はスクールゾーンで通学時間帯に通行規制が掛かりますが、通行する車がいって困っています。それを周知する横幕を新しくする予定です。 ・平成30年度は南小学校が三島市PTA連絡協議会の事務局になるので、地域と協力していきたいです。
南小学校PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・11/22の「373フェス」の日に廃品回収（新聞紙・アルミ缶等）をやります。ご協力ください。
南小学校支援地域本部	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備（花壇ボランティア）に協力してくれる人がいてありがたいです。 ・来年度、子ども見守り隊を組織していきたいです。 ・気軽にできるようにしたいと思いますので、活動にご協力ください。
南中学校MLS 学校支援地域本部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者・地域が交流する場を作るため、「通学路キラリ大作戦」を年2回実施しています。今年の夏で11回目になりました。 ・団体名に付いている「MLS」は、平成18年に生徒会が中心となり立ち上げた「みなみ・ライフ・セイバーズ」の略です。MLSの継承は難しいですが、その精神を忘れないように支援地域本部の名前に入れていただいています。
富田町子ども会	<ul style="list-style-type: none"> ・声掛けしたところ、会員やバスツアー参加者が増えました。良かったです。
南小おやじの会	<ul style="list-style-type: none"> ・2/4にもちつき大会をやります。地域の方もご参加ください。
保健委員	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談会を年2回自治会毎に開催しています。ぜひご参加下さい。
地域包括支援センター三島	<ul style="list-style-type: none"> ・「見守りシールで安心プラス」（認知症高齢者の見守り事業）を始めます。地域の方のご協力をお願いします。
三島市 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・三島市から受託し、「生活支援コーディネーター」の役割を担っています。 ・高齢者のサロン等の“居場所”づくりに力を入れています。 ・地域の困りごとの相談も受け付けますので、お気軽にご相談ください。

■小学校区の年間スケジュール表の追加・修正内容

日にち	団体名	行事・活動等
11月20日	南幼稚園	■おゆずり会・遊ぼう会
11月22日	南小学校PTA	■廃品回収
12月2日	平田自治会	■クリスマス会
12月17日	藤代町町内会	■ぼかぼか祭

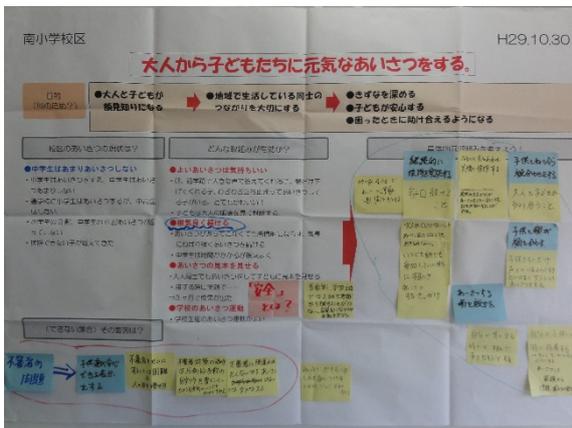
「計画案で実践できることを考えよう！」のまとめ

■旗揚げアンケートの結果

「きずながつくる協働の取組み計画案」に掲載されている取組みのうち、昨年度第2回連絡会で投票数の多かった取組みの中から、参加者自身が話し合いたいテーマを旗揚げアンケート方式で把握しました。

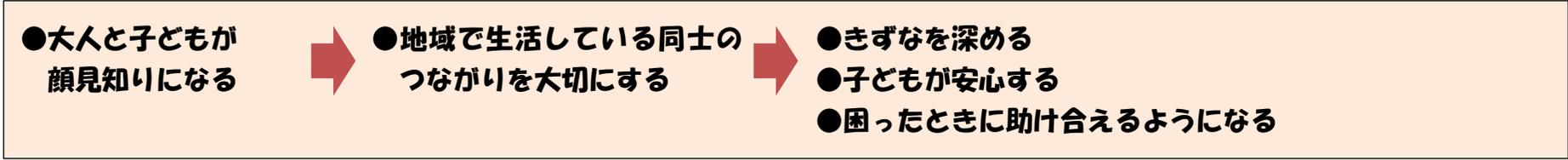
	大人から子どもたちに元気なあいさつをする。	10
	地域の防災訓練に園児と保護者が親子で参加する。	7
	運動会やしゃぎりには、子ども会未入会者でも参加できるようにするなど、子ども会以外で子ども同士の交流の機会をつくる。	8

その後、選択したテーマごとにグループを作り、第1回連絡会の意見を踏まえて、グループ別に意見交換を行いました。各グループの意見のまとめは、次ページ以降に整理します。



大人から子どもたちに元気なあいさつをする。

目的
(何のため?)



校区のあいさつの現状は?

- 中学生はあまりあいさつしない
 - 小学生はあいさつをする。中学生はあいさつあまりしない
 - 通学時に小学生はあいさつするが、中高生はしない
 - 小学生の3割、中学生の6割あいさつが返ってこない
 - 挨拶できない子が増えてきた

どんな取組みが有効か?

- よいあいさつは気持ちいい
 - 朝、通学路で大きな声で答えてくれる子、頭だけ下げてくれる子、わざわざ立ち止まってあいさつしてる子がいる。とてもかわいい!
 - 子どもは大人の服装を見て判断する。
- 根気良く続ける
 - あいさつが返ってこなくても感情的にならず、気長にねばり強くあいさつを続ける
 - 中学生は時間がかかるが根気よく
- あいさつの見本を見せる
 - 大人同士でも挨拶をして子どもに見本を見せる
 - 接する時に笑顔で...⇒3ヶ月で成果が出た
- 学校のあいさつ運動
 - 学校主催のあいさつ運動がよい

具体的な取組みを考えよう!

- 継続する
 - 継続的にあいさつを実施する
 - 毎日続けること
 - 大人がくじけないこと。あいさつ返って来なくてもあきらめない
- 「あいさつ週間」の実施
 - 地域全体で挨拶運動週間を設ける
 - いつでも誰でも参加していい形で
 - あいさつするきっかけ
 - 目を合わせ笑顔であいさつする
- 大人が見本を見せる
 - 近所の大人同士があいさつしているところを子どもに見せる
 - あいさつする場を設ける
 - 自分が外に出るときには、進んで声を出すようにする
- 大人と子どもが顔見知りになる
 - 子どもと知り合う。顔合わせする
 - 大人と子どもが知りあうこと
 - 子どもと親が顔を合わす
 - 子ども達にだけ声をかけるのではなく、大人同士もあいさつする
- 家庭から
 - 自分の子どもには特に指導する →そこから広める
 - あいさつは家族から(学校、園からの発信)

(できない場合) その要因は?

- 不審者対策
 - 不審者の問題
 - 「不審者に間違われたくないからあいさつしない」ではダメな大人

- 人の目を増やす
 - 子ども達が安心できる表示をする
 - 不審者をゼロにすることは困難。人の目を増やす
 - 不審者対策の決め手は圧倒的多数の見守り手を置くこと。だから自発的にいつでも誰でもやる
- おそろいのものを身につける
 - 皆でおそろいのものを身につける(ぼうし、バッジ、たすきなど)

当番制、学校主催では人任せから脱することができない。自発的でなければ本質を見失う

地域の防災訓練に園児と保護者が親子で参加する。

目的	● 地域の人 が子どもたちを守る	● 親子 が自分たちの命を守る	● 地域住民と園児・保護者 のきずなづくり
----	-------------------------	------------------------	------------------------------

現在の状況（確認）

- 園児と保護者の参加者は少ない**
 - ・防災訓練への参加者は少数。参加する子どもはいない。
 - ・園児が防災訓練に参加してる数は少ない
 - ・子どもの参加率は保護者の参加率で決まる。

- 参加意識が低い**
 - ・自由参加なので、積極的に参加する気持ちになりにくい
 - ・自治会の行事と受け取られている
 - ・防災訓練の内容は町内会に任せっきり。

- 園児の数を地域で把握できていない**
 - ・どの組にどのような子どもがいるか把握できていない。
 - ・地域は一部の保護者・児童しか知らない。すべての児童の把握は難しい
 - ・勤め関係で子ども達をよく知らない。挨拶はする。事前に防災訓練の連絡はするが、自主参加の為組織としての効果は不明

- ・継続は力となる
- ・10/22 に小学生対象の一泊二日の防災合宿を開催
- ・モナーク三島親睦会を開催。しかし年々参加者が減少。固定化している

実施に向けた課題は？

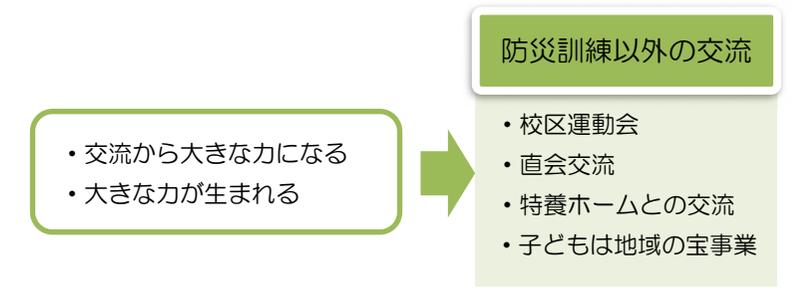
- 地域
- ・子どもが参加した場合、年齢に応じた子どもの役割がはっきりしない
 - ・学校で推進しているので、小中学生が少ないながらも参加しているが、どの家庭の子かわからない。
 - ・避難場所（学校）によって訓練内容が異なる。共通部分+独自部分の訓練内容にならないか
 - ・学校の引渡し訓練に保育園や地域の防災役員が参加することで、園児や保護者を知ることができる

- 保育園
- ・防災訓練をする日程を知りたい。教えてもらえば、保護者に情報発信する（園だよりや地域だより等で）
 - ・南小学校以外の園児もいることもあり、地域との交流は少ない。

- 保護者
- ・保護者が参加しないと子ども単独では参加しない。保護者の参加をどうやって増やすか？
 - ・親の参加の理解を得るよう防災意識向上
 - ・保護者の防災意識の向上を。いかに高めるか？

実施に向けてまずやること

- 体制の再構築**
 - ・町内会各組に必ず防災班員を割り当てる
 - ・どの家庭に誰がいるのか区ごと確認（おまつり・運動会など）
 - ・中学生を班員に加える
- 訓練以外の取組み・意識の醸成**
 - ・防災講座を開く。訓練だと参加しにくいだが、園児・保護者用の講義なら参加しやすいのでは？
 - ・黄色いハンカチを配り、まずは意識づける
- シミュレーション重視の訓練**
 - ・シミュレーション型防災訓練を企画する
 - ・シミュレーションの中で必要な子どもの役割を洗い出す
 - ・子どもの役割→自分の身は自分で守るよう家庭で教育する
 - ・自治会合同防災訓練の推進。内容の精査
- 保護者を参加させる（周知方法の工夫）**
 - ・アナウンス大事だ！（知らせる事）表現の工夫
 - ・開催通知の書式を工夫する
 - ・幼稚園で自治会の防災訓練の日を知らせる



運動会やしゃぎいには、子ども会未入会者でも参加できるようにするなど、子ども会以外で子ども同士の交流の機会をつくる。

目的
(何のため?)

- <きずな> ・仲間作り。たて横のつながり
- ・遊びを通じてきずなを深める
- ・地域の発展の為子どもの見守り
- ・地域活動を通じた交流の活発化
- ・地域活動に関する子どもへの教育

現在の状況 (確認)

■しゃぎりは誰でも OK の地区もある

- ・田町：子供会に入っていないでも参加可
- ・しゃぎりに入ってくる子どもの数は変わらない (ここ数年)

■集団下校があった

- ・昔は町内ごと集団下校があった

■子ども会が無くなった

- ・子ども会が無いと子どもを集める事が難しくなった
- ・子ども会がなくなって、運動会参加者を集めづらい
- ・子ども会なくなると運動会がさみしい
- ・市子連でも存続に向けて取り組んでいる

企画アイデア

■子どもが主体になる企画づくり

- ・子どもに企画させる必要あり。大人は手伝い
- ・必要なことは手伝うが、主体は子ども
- ・子ども主体ならよくまとまる
- ・6年生ならまとめられる

■入っていない子でも参加しやすく

- ・子ども会に入っていないでも運動会にユニフォームを貸す
- ・各町内からの選抜チームで参加してはどうか
- ・体育振興会がもっと工夫してほしい
- ・テントに中学生・高校生を呼んでみる
⇒運動会でつながりはできる

まずできそうなこと

■子ども会のスリム化

- ・子ども会の役員を減らして成功した
- ・子ども会の廃品回収をなくして成功した

課題

- ・子ども会は大人の事情でなくなった
- ・親を通して子ども会を運営するのは困難
- ・学校の協力が必要